

県の感染状況①

直近の感染者数の推移

2日連続17人以上

〔県内発表分〕
単位:人

7/13	7/14	7/15	7/16	7/17	7/18	7/19
10	33	11	20	33	10	7

直近の感染傾向(7/12~7/18)

年代



53.7%

感染経路



接触者の割合が多い(70.2%)

県の感染状況②

直近1週間(7/12~18)の感染者のうち

外国籍と思われる方、外国につながりのある方:59.5%

- ・県内の外国人住民比率(約3%)に比べ、多数の感染者
- ・言語や生活習慣、文化の違いにより、感染防止対策やワクチンに関する情報が十分に行き届かない

・多言語による情報発信や、生活習慣、文化の違いに合わせた対策の周知

・ワクチン接種への支援

・事業所への支援

等が必要

県の取組①

外国籍の方への情報発信の強化

〈これまでの取組〉(継続)

- ・外国人雇用企業を通じた周知、HPやSNS等の活用
- ・キーパーソンを通じたコミュニティへの働きかけ
- ・各支援団体によるYouTubeやネットラジオでの情報発信
- ・外国籍の方が集まる場所等での啓発

関係団体等による
拡散・シェア

〈新たな取組〉

- ・外国籍の方の利用率が高い**Facebook**を通じた情報発信
 - ① コミュニティに応じた**具体的な対策ポイント**(7/21予定)
 - ② 対策ポイント「**1分間動画**」(8月上旬予定)
- ・外国籍の方を雇用する**企業向けセミナー**等において啓発を実施(7/21~7回程度予定)

6言語 (スペイン語、
ポルトガル語、英語、
フィリピン語、ベトナム語、
タイ語)で作成

県の取組 ②

ワクチン接種への支援

〈これまでの取組〉(継続)

- ・「みえ外国人コロナワクチン相談ダイヤル」での多言語での相談対応



〈新たな取組〉

①ワクチン接種の予約支援体制の確立・周知

- ・「みえ外国人コロナワクチン相談ダイヤル」を活用した予約システムの入力支援や代行入力

②企業、団体等に対する働きかけ

- ・外国人雇用企業や日本語学校、技能実習生を支援する監理団体等に対して、接種に関する情報周知や接種後の副反応の際の療養に伴う休暇取得への配慮等の働きかけを実施

県の取組 ③

事業所への支援

職場や社員寮などでの構造的な課題による感染やそこからコミュニティへの感染拡大の事例



〈これまでの取組〉

- ・6月に、希望のあった**外国人雇用事業所へ抗原定性検査キットを配備**

274事業所へ
(2,740人分)

〈新たな取組〉

- ・未配備の事業所を対象に**再度募集開始**
(7月15日から)



県民の皆様へ

身近な人でもしっかり対策を!

- ・食事中でも会話の際は必ずマスク着用
- ・親族、友人など身近な人でも気を緩めず
基本的な感染防止対策を!

少しでも体調が悪いときは

- ▶ 外出を避け、人との接触機会を減らす
- ▶ 家庭内でもマスク着用、別室で過ごす
早めにかかりつけ医などに相談

咳や倦怠感、
鼻水などの
軽い症状でも
注意

約半分の方(49.8%)が軽い症状
(7月1日~18日の感染者の発症日の症状)

県民の皆様へ

この夏もしっかり対策を!

- **4連休** (7月22日~25日)、**夏休み**、**お盆**等
人の移動の多い時期
⇒改めて**基本的な感染防止対策の徹底**を!
 - **帰省**や**旅行**はお盆など
人の移動が**集中する時期**を**避けて**計画する等の工夫を!
 - 屋内でも屋外でも、**バーベキュー**など
大人数、長時間の飲食は避けて!
- オリンピック、パラリンピック観戦も